

シヨールーム新聞

2019年2月

常識を変える音響体験シヨールーム 東京・新木場に登場。

2019年、ナイス株式会社
の耐震博に参考出展した「COVA」の体験シヨールームが東京・新木場にオープンした。

「COVA」は、室内に設置するだけで、その空間が音響空間となる収納と音響を兼ね備えた魔法の棚。プレス発表などを控え肅々と準備を重ねているその現場に、私たち取材班は足を踏み入れた。

「COVA」が設置された「PAYS SHOW ROOM」は木材の街、江東区・新木場にある。新木場は、現在

の木場にあった材木商の街が昭和四四年に移転してきたことで完成した木材団地。記念すべき完成五〇周年を迎えた。

新木場駅の看板にもいたるところに木材が利用されている。構内だけにとどまらず、駅前ロータリーの先にも外壁に木材を利用したデザイン色の強いビルが見える。駅を降りた瞬間には、どこか懐かしい木の香りが鼻をくすぐった。

「COVA」は、洞窟の意味を持つ言葉。音が洞窟にこもって反響するイメージで命名された。その名が示す通り、「COVA」は、スピー

収納 × 音響 = COVA



カー本体に多く用いられる素材、ラトビア産の白樺材、バーチ材を使用している。また、「COVA」はスタジオオコーストやブルーノートジャパン、各種音楽フェスティバルなどで高い評価を得るスピーカー製作集団「Taguchi」の「トラボレーシヨ」により製作されていることから、その音響効果はプロのお墨付き。

一般向けのスピーカーユニットを手がけるのは「Taguchi」では初めての試みということもあり、音響業界からも注目を浴びている逸品だ。

シヨールームのガラス越しに見える「COVA」は、壁一面を収納棚として利用していることもあり、圧倒的な迫力がある。しかし、音響上の工夫により、十分な空間が開けられていないため、圧迫感はない。不思議と感じない。木質で仕上がったやさしい雰囲気、空間全体を暖かく包んでいた。

その中で聞く圧巻の五・一チャンネルのサウンドは、木質の優しさとのギャップも相まって、聞く者の心を踊らせる。ぜひ一度足をお運びいただき、読者の皆様にも体感していただきたい。

スペースの問題でホームシアターを諦めていたり、無限に増えるコレクションの収納に頭を痛めていたユーザーや、おしゃれなオフィス収納を求めるオフィスなど、需要は様々なところにあるようだ。

各種お問い合わせなどもメールにて承っておりますので、お気軽にご相談ください。

info@plyandwood.co.jp

PAYS SHOW ROOM

(予約制)

東京都江東区新木場

1-9-110

メールにてご予約を承っております。